

第26回 金沢自転車ネットワーク協議会 議事概要

日 時：令和5年3月6日（月）13:30～14:45

場 所：国土交通省 金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 事
 - (1) 今年度の取組状況
 - (2) 金沢自転車通行空間整備ガイドラインの見直し
 - (3) 金沢自転車事故対策研究会の活動報告
 - (4) 今後の予定
4. 閉 会

議 事 要 旨

■今年度の取組状況

◎各道路管理者における今年度の取組について報告した。

■金沢自転車通行空間整備ガイドラインの見直し

◎金沢自転車通行空間整備ガイドラインの見直し内容について承認された。

■金沢自転車事故対策研究会の活動報告

◎交通安全教育もルールを単純に教えるだけではなく、体験型や楽しく学べる形に変わってきており、協議会でも実践していけるとよい。

【第26回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	公立小松大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 名誉教授 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10・11次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通部 交通企画課長 源 康晴	欠席
	石川県警察本部 交通部 交通規制課長 小坂 祐	代理出席 課長補佐 宮下 真希
	金沢中警察署 交通官 宮 務	欠席
	金沢東警察署 交通官 割出 孝信	欠席
	金沢西警察署 地域交通官 和泉 哲朗	欠席
行政 関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 水道 剣	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 宮本 義浩	欠席
	石川県 土木部 都市計画課長 竹内 憲一	代理出席 課参事 田中 進一郎
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 竹田 朗	出席
	金沢市 都市政策局 歩ける環境推進課長 山田 敏之	代理出席 主任技師 谷津 成輝
	金沢市 土木局 道路管理課長 木谷 哲	欠席
オブザ ーバー	白山市 建設部 土木課長 中川 浩一	欠席
	野々市市 建設部 土木課長 道下 和宏	欠席
	津幡町 産業建設部 都市建設課長 本多 克則	代理出席 係長 中川 崇晃
	内灘町 都市整備部 都市建設課 渡辺 崇	欠席

※ 敬称略

議 事 概 要

○各委員、●事務局

■開会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 戸部課長）

定刻となりましたので、ただいまより第26回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

私は、事務局で司会を務めます、国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課の戸部でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

出席者名簿の変更点ですが、石川県警察本部交通部交通企画課様、石川県土木部道路整備課様が本日急遽欠席となっております。

それでは、開会にあたりまして、高山会長よりご挨拶をお願い致します。

■会長挨拶

○公立小松大学教授 高山会長

暖かくなってきており、自転車に乗ると楽しい季節になってきました。

金沢自転車ネットワーク協議会の設立からは12年、自転車通行空間の整備を始めてからは15年ほど経っていますが、近年は整備延長が伸び悩んでいるように思います。しかし、今年度は直轄国道でも整備があったと聞き、嬉しく思っています。直轄国道はクルマの交通量も多く、なかなか車道通行が難しいかもしれませんが、まちなかの国道区間は歩行者交通量も多く、自転車は歩道より車道を通行するほうが、双方にとって安全ではないでしょうか。引き続き、兼六園下までの区間や反対車線も整備していただきたいです。

今回は各道路管理者の取組状況や、金沢自転車事故対策研究会の報告等があり、お気づきの点があればご指摘いただければ幸いです。

■議事

(1) 今年度の取組状況

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

昨年11月に開催した第12回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会をきっかけに、北陸3県のメンバーでオンラインの勉強会を開催しています。福井も富山も、石川とつながりながらサイクルツーリズムを進めたいという意向があり、このような勉強会を今後も続けていきたいと思っています。

自転車通行空間の整備については、国・県・市それぞれが頑張っているように思います。

金沢鶴来線は、周辺に学校も多数立地しており自転車も多いと思われます。長野県伊那市では、大成ロテック株式会社と連携協定を締結しており、デジタルを活用し、中学生と通学路の危険な箇所をマップにする取組をしています。生徒一人ひとりがタブレットを所有していることから、データを簡単に共有していました。また、先日訪れた金沢泉丘高校はSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に認定されており、交通分野に関する研究にタブレットを活用している生徒もいたため、交通環境に興味を持ってもらえることは良い教育になると思い、泉丘高校に限らずデジタルを活用した交通安全教育に協力したいと思いました。

令和3年に発生した千葉県八街市の通学路での事故をきっかけに、国が通学路での交通安全対策に関連する補助制度を創設していると聞きました。適用できる路線などの条件は把握していませんが、補助制度を活用して子どもたちの交通安全に役立ててははいかがでしょうか。

○公立小松大学教授 高山会長

金沢鶴来線と別所野町線については、交通量調査やアンケート調査、ヒアリング調査などはすでに実施されていますか。交通量調査はどの区間で調査したのでしょうか。

○県央土木総合事務所維持管理課 四十万主幹兼施設整備第二係長

金沢鶴来線で10区間、別所野町線で5区間において12時間交通量を調査しました。一番多いところで金沢鶴来線は歩行者が約1,100人、自転車が約500台、別所野町線でも歩行者が約500人、自転車が約400台となっています。クルマやバスの交通量も多く、交通の課題が見えてきているところです。

○公立小松大学教授 高山会長

昔から自動車、バス等の交通量が多く、幅員が狭いところであり、バスの運転手も注意しながら通行する区間かと思います。次年度以降もぜひ検討を進めていただきたいと思います。

金沢市の自転車安全教育は、市内全校の小学3年生が対象でしょうか。

○金沢市都市政策局歩ける環境推進課主任技師 谷津委員
全校を対象としており、R4年度も例年どおり、全校を対象に実施しました。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員
倉谷土清水線の新規整備区間沿線の寮とは、中学の寮でよろしいでしょうか。

○県央土木総合事務所維持管理課 四十万主幹兼施設整備第二係長
昨年、金沢学院大学附属高校に併設して附属中学校が開校しており、中学校の寮が新たに近隣に建設されました。中学生は裏道も通ると思いますが、保護者の送迎等による新たな交通需要も想定し、整備区間を延伸しました。

(2) 金沢自転車通行空間整備ガイドラインの見直し

○公立小松大学教授 高山会長
参考情報で紹介された電動キックボードについて、16歳未満は乗車不可ということによりよろしいでしょうか。

●事務局（金沢河川国道事務所 前田係長）
16歳未満は乗車不可となっています。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員
警察では、県内の電動キックボードの利用状況は把握していますか。

○石川県警察本部交通部交通規制課長補佐 宮下委員
電動キックボードの利用は、今のところ県内ではあまり見られませんし、サービスを提供している事業者も聞いたことがありません。

○金沢市都市政策局歩ける環境推進課主任技師 谷津委員
電動キックボードのナンバー取得にあたっての窓口が市なので、問合せが稀にありますが、駐輪場等でも見かけることはほとんどありません。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員
さいたまで開催された自転車利用環境向上会議ではパリの事例発表がありましたが、その後話を聞くと、電動キックボードによる交通事故が絶えないと聞きます。そのため、パリでは、今後、レンタル事業を規制するかどうか住民投票で決定するという一方で、普及すると問題が出てくるのだらうと思います。

○公立小松大学教授 高山会長

まちのりと競合する可能性もあると思います。乗り捨てはできないようにするとしても、半日や1日レンタルであれば需要がありそうです。

○石川県警察本部交通部交通規制課長補佐 宮下委員

東京で電動キックボードのシェアサービスのLUUPを体験しましたが、乗る前に免許証の写真を送り、交通ルールの問題に正解しないと利用できないようになっていました。今年の7月以降は16歳以上であれば免許不要で使用できるようになりますが、交通ルールも知ってもらった上で乗ってもらうようにする必要があります。

(3) 金沢自転車事故対策研究会の活動報告

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

自転車通行空間を整備した区間でも自転車事故が発生しているのはショックでした。今までハード整備を中心に取り組んできましたが、これからは安全教育のようなソフト面の対策も必要になってきていると感じました。

先日の自転車利用環境向上会議では、自転車の安全教育をテーマとした分科会の座長を務めました。視察させていただいたNPO法人I-Doの稲富氏もスピーカーとして参加していましたが、楽しみながら学べる環境がある点が羨ましく感じました。このような場所が金沢でもあると良いですが、北九州交通公園ほどの規模であれば、県が整備しないと難しいのではないのでしょうか。

2人目のスピーカーは、市民自転車学校プロジェクトの藤本氏で、関西方面で自転車の交通安全教室を開催されています。子ども向けだけでなく、高齢者の交通事故も問題になってきていることから、60代以上を対象にした交通安全教室も開催されています。

交通安全教育もルールを単純に教えるだけではなく、体験型や楽しく学べる形に変わってきているように思います。協議会でもそのような交通安全教育を実践していけるとよいと思います。取組が交通事故の減少に直結するわけではないと思いますが、新たな交通安全教育の形であると思います。

○地球の友・金沢 三国成子委員

北九州交通公園の園内コースの外周には上り坂があり、下ってきたところに一時停止の標識が設置されていた。ちょうど視察に行ったときに、男の子が下り坂の最後の一時停止でしっかりと止まって左右確認をしているのが素晴らしく、自転車は実際に乗りながら技術を学ぶことが大事であると思いました。また、交通公園は子どもの目線の高さに標識が設置されるなど、細かな工夫がされており、非常に参考になりました。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

北九州市だけでなく、福岡市など近隣の自治体からも広く来園していると聞きました。子どものスポーツチームなどの団体も利用しているようです。

○公立小松大学教授 高山会長

北九州交通公園はいつからこのような取組をしていますか。

●事務局（金沢河川国道事務所 前田係長）

昭和 48 年に県が公園を整備していますが、平成 18 年からは指定管理者制度により NPO 法人 I-Do が管理しています。年間 20 万人近く来園しており、利用者が非常に多くなっています。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

近年、京都市も交通公園を再整備しています。交通安全教育と自転車関連事故の減少との関連がわかるとよいです。

○公立小松大学教授 高山会長

令和 3 年度の自転車対歩行者事故について、歩行者の違反とは、具体的にはどのような違反でしょうか。

●事務局（金沢河川国道事務所 前田係長）

事故図を確認したところ、2 件の事故は飛び出しによるものと推測されます。

○公立小松大学教授 高山会長

此花町や堀川町の事故は、普通自転車歩道通行可の指定がない歩道を通行し、事故に遭ったということでしょうか。

●事務局（金沢河川国道事務所 前田係長）

いずれの事故もそのとおりです。

（４）今後の予定

○公立小松大学教授 高山会長

情報公開について、現在図面に載っている写真は削除されるのでしょうか。

●事務局（金沢河川国道事務所 前田係長）

整備済み路線の代表例を整備形態ごとに整理し、掲載する予定です。

○公立小松大学教授 高山会長

整備済み路線を地図上でクリックすると写真や情報が見られるようにしてはいかがでしょうか。

●事務局（金沢河川国道事務所 前田係長）

掲載方法については工夫し、改善したいと思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 戸部課長）

高山会長、委員の皆様、活発なご議論をいただきありがとうございました。

次回の協議会は8月頃を想定しております。以上をもちまして、第26回金沢自転車ネットワーク協議会を終了いたします。ありがとうございました。

－以上－